



神谷小中学校 令和2・3年度 いの町教育委員会研究事業指定発表会 part 4

菊池先生基調講演

この講演のゴール

私の力は必ず必要とされる、私を必要としている人は必ずいる、そのような気持ちを持てる子どもを育てることです。

◆問題解決のための話し合い

何か気になることを解決しようとする場合、その時だけ話し合っても解決はできません。問題解決のための話し合いには4つの型があります。

- ①全員参加の情報集め(山手線ゲームのように出し合う)
例「担任の先生にプレゼントを渡すなら何にしますか」
- ②悩み打ちあけ型(グループでアイデアを出す)
例「私の悩みは～です。どうしたら解決できるでしょう」
- ③想像型(もし～だとしたら…)
例「もし、学校に有名人を呼ぶなら誰がいいですか」
- ④ディベート型



①の活動は数分でできます。友達のことを苦手だと思ふのは、その人のことを知らないからです。毎日少しずつ相手のことを知る時間を確保しましょう。

◆みんなで学び合い、つながり合う

クラスや学級でまとまって何かをすることはいいことだ、という価値観を育てたいです。それは単純に成長ノートや価値語、ほめ言葉のシャワーをすればよいわけではありません。みんなで学び合う、つながり合うのはよいことという実感を持った子は、「自分のことが大好きです」と言って育つのではないのでしょうか。最後に、職員集団のあり方は学校の鑑です。個人の集まりではなく、チームとしてまとまった職員集団を目指しましょう。そして、そのような学校が集まった地域が「いの町」です。ますます輝く地域になっていかれると思います。



参加者の感想より

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

授業について

- ・ 1・2年生の道徳の授業の**子どもの反応や先生の言葉がけ**など、複式学級での授業の様子がよく分かった。3・4年生の外国語の授業で、子どもたちが堂々と英語でやり取りしているのが、すばらしいと思った。**普段の授業の上に成り立っている様子**が**子どもたちの自信に満ちた声**で分かった
- ・ 少人数の複式授業であっても、子どもたちが**自分たちで話し合う姿**は普段からの取組がしっかりできているからだと思いました。リーダー学習にこだわると型にはまりすぎて変ですが、**自然な形で授業が子どもたちの中で進んでいくの**を見ると羨ましく思います。
- ・ 中学校の授業では、グループ学習においても**生徒が司会で話し合いを進める**ことができていた。全体でも意見や質問を出し合い具体的にどう行動したら良いのか、という問題解決につながっていた。**柔らかい雰囲気**で意思表示（反応）がきちんとできていたのが印象的だった。

基調講演について

- ・ 「**あなたの力は必ず必要とされる、あなたを必要としている人が必ずいる**」ということをとどの子ども持てる教育をしっかりと頭に入れて取り組んでいきたいです。
- ・ **指導者の教育観が中心**にないといけないと改めて思った。人を言葉で育てるという視点を常にめざしていきたいです。
- ・ 講話の間に聴く側がペアやグループで話をするという場面を取り入れて進めていくことにより、様々なことを、記憶することができたように思う。4つの柱（お題）により、どう進めていくのか生徒の反応も含めて具体的に説明してくれ、分かりやすかった。**日々の実践でみんなでまとまること。つながり合うこと**を認識した。

その他

- ・ **是永先生の講話**は、児童生徒の見方等、大変分かりやすかったので、もっと聴きたいなと思いました。短時間でまとめて伝えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・ **教室の掲示物**特に子どもの作品が素晴らしく、**日々の取組の丁寧さ**と子どもたちが粘り強く学習に向かう姿が目に見えました。ありがとうございました。



すてきなプレゼント、
ありがとうございました！

おわりに～教育研究所より～

神谷小中学校は、チーム一丸となって研究成果を発表してくれました。日頃から子どもたち一人一人を大切にする教育をされていることを感じた発表会でした。

また、参加者の方々には、発表会について肯定的な感想をたくさんいただきました。先日、町内の小学校を訪問した際、「あなたの力は必ず必要とされる、あなたを必要としている人は必ずいる」と早速、5分の1黒板に書き、子どもと共有している先生がいました。嬉しく思ったことです。

発表会開催のために、長期間準備をしていただいた神谷小中学校の皆様と、ご参加いただいた皆様にお礼を申し上げます。